

立ち向かわなくてもいい

君は、無理して立ち向かわなくていいんだ。

学校やクラスにいても楽しくない。仲間にもく入れない。それなら、それで、別にいいんじゃない。



大リーガー

松井 秀喜さん

ないかな。だれかがつくった世界に君が入らなければいけない、ということはないんだよ。

それより、君には、居心地のいい場所で、自分の好きなことに夢中になっただけでいい。何かに没頭ぼつとうすることによって、いやなことが気にならなくなる。逃げるんじゃない。

い。自分から好きな世界を選ぶんだ。その中で同じ夢を持った友だちに出会うこともあるだろう。

新しい仲間ができるかもしれない。ぼくは小さいころ、体が大きいだけでなく、太っていた。それを悪く言う友だちがいたかもしれない。ぼくはまったく気にならないタイプだから

コンプレックスを感じることもなく、ただ大好きな野球に没頭していた。

そのうちに、自然と体も絞しぼれてきた。もちろんいい仲間とも、たくさんめぐり合うことができた。

だから君にも大好きなことを見つけ、自分の夢を持つてほしいんだ。スポーツが好きなのもあれば、音楽が好きなのもあるだろう。何かを書いたり、つくったり。見ることもいいんだ。好きな

ものに出会えたら、それを大切にしたい。

君をいじめている人がいるとしたら、その人もきつとつらい気持ちでいると思う。だって、人をいじめることが夢なんて人はいないはずでしょう。いじめは夢の遠回りなんだ。その人にも、自分の夢を早く見つけて欲しいと言いたい。後悔こうかいするような時間は、短い方がいいからね。

だから、いま君が立ち向かうことはないんだ。